

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和1 年12 月 2 日

公表: 令和2 年1 月 日

事業所名 さん・さん北方

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			改装後は理想的な環境であるが、さらなる環境向上を目指す。
	2	職員の配置数は適切である	2	1		女性スタッフが増えるとより効率的、との意見を踏まえて女性職員の補充に心がける。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		改築後は快適	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		定期的に行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		効果的に活用している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		毎年1月に行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		効果的に行っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		定期的な研修会を実施している。	年間スケジュールを計画している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		月1回の定期職員会議で図っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		全職員が活用	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1			空白2名(個人立案が目立つ)
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		毎日、テーマを変えている	更なる、向上を目指して工夫します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		今後は、さらなる支援体制を目指す。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		テーブルを分けている	小グループでの活動の回数を今後は増やしていく予定
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		始まる5分前に行っている。	毎日の担当職員の一覧表を作成する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	送迎後に1分ミーティングを行う。	終了後は慌ただしいですが、今後はもっと工夫をして時間を取りたいです。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	業務日誌への記録義務。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1		現在は児童発達管理責任者が責任をもって行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		年間予定表は張り出されている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	看護師が常駐している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		定期的に行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		児童発達管理責任者のみ受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1		今後は増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	全職員が参加出来るように日程を調整。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		送迎時に毎日行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1		今後は予定する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			利用開始時にきちんと行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		連絡帳を活用	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	食事会を設けている	年2回の食事会を設けている。好評です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		連絡帳を活用	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1		毎月1回の会報を発行している。今後は月2回に増やす予定。
	35	個人情報に十分注意している	3		厳重管理している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		年数回行っている	法人のイベントへの招待や、地域の祭りに積極的に参加している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		毎年4月に配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		年1回は実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		定期的な講習会を開催	全員が参加出来るように、数回に分けて行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			十分なる説明後に、「同意書」を預かっている。毎年4月に更新している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		全員の記録を保管	全職員が理解できるように記録帳が作成されている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		事務所に提示している	毎年、新しい事例を掲載している。